

釜戸・大湫地区



①釜戸コミュニティセンター

2037年(令和19年)～2046年(令和28年)に複合化

釜戸コミュニティセンター・竜吟幼児園・竜吟地域子育て支援センターの複合化

〈課題〉河川に近く、安全面に不安がある。早期に移設等の検討が必要ではないか。

国道19号瑞浪恵那道路の開通時期が未定の中、周辺開発にも遅れが生じ、複合化への影響も心配される。児童数の減少を鑑みて、竜吟幼児園・竜吟地域子育て支援センターを釜戸小学校に併設することも考えてはどうか。

②竜吟団地（市営住宅）

2037年(令和19年)～2052年(令和34年)に除却

現在、新規入居者の募集は停止。耐震性が確保されているため、移転補償の対象としていない。跡地利用については未定。

〈課題〉竜吟峡、大湫宿のウォーキングロードが近いので、跡地利用についてはそれを考慮した随時検討が必要ではないか。



竜吟団地

③公文垣内団地（市営住宅）

2023年(令和5年)～2032年(令和14年)に除却

現在は新規入居者の募集は停止。現存の3棟中1棟は入居者が退居済のため、2025年度に解体予定。跡地利用については未定。

〈課題〉すでに除却が始まっている。跡地利用について、早期検討が必要ではないか。

④釜戸地区消防団拠点施設

2023年(令和5年)～2032年(令和14年)に除却

現存4か所の集約化を検討

〈課題〉国道19号瑞浪恵那道路の開通時期の未定が集約化計画に影響している。

団員数の減少により、既存の部や班の維持が難しくなっている。施設の耐用年数到来年度を考慮し、将来性や利便性を踏まえた施設の設置場所や集約の検討を望む。

⑤新森

2021年(令和3年)～2031(令和13年)年

民間に貸出

市が改修工事を行い、民間でカフェを開業。10年契約で現在営業中。

〈課題〉観光客が少なく、経営継続に不安が感じられる。公共交通の確保等、観光資源としてのバックアップが望まれる。



古民家カフェ